

10月・11月 予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
9月例会報告・8月山行実績・新入会員紹介・・・・・・・・・・2
山行案内（10月・11月・12月）・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～7
山行報告
・西穂高岳（石塚）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9
・劔岳北方稜線（富永）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～12

短歌「猛暑の夏を振り返る」（羽鳥）・・・・・・・・・・・・・・・・13
思い出の山（井上順）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14～15
ちょっと一言（林・西堀）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16～17
会員募集ポスター

表紙写真紹介（大正池と焼岳）

上高地は季節ごとに幾度となく訪れている。10月の連休、西穂から降って来た時のもの。同行した娘が、独標の先は怖くて・・・退散。以来西穂は未踏のまま。10年余り経つと大正池の姿も変わってきてしまった。昨今の異常な気候である「錦秋」が訪れるのか、景勝も様変わりしてしまわないか心許ない限りだ。

梅田尚志

会報部からのお願い <表紙写真>

11月号は前田節子さん、12月号は赤塚義政さんです。
その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（清水）へ提出して下さるようお願いいたします。

10月・11月予定表

日	曜日	10月	日	曜日	11月	
1	水	山行部会 (19:00～)	1	土		
2	木		2	日		
3	金		3	月	文化の日 三浦アルプス	
4	土	鋸山	4	火		
5	日		5	水	山行部会 (19:00～)	
6	月		6	木		
7	火		7	金		
8	水		8	土		
9	木		9	日	例会 (14:00～東初富公民館)	
10	金		10	月	県連ウィークデー山行	
11	土		11	火		
12	日	例会 (14:00～中央公民館)	12	水	運営委員会	
13	月	スポーツの日	13	木		
14	火		14	金		
15	水	運営委員会	15	土	県連事故防止経験交流集会	
16	木		16	日		
17	金	} 県連韓国登山 (4泊5日)	17	月		
18	土		18	火		
19	日		塔ノ岳	19	水	
20	月			20	木	
21	火			21	金	
22	水		22	土	松の木尾根	
23	木		23	日		
24	金		24	月	編集会議 (10:00～12:00)	
25	土		25	火		
26	日	県連ふれあいハイク三船山	26	水		
27	月	編集会議 (10:00～12:00)	27	木		
28	火		28	金	要害山	
29	水		29	土		
30	木		30	日		
31	金					

2025 年12 月予定

※12/2(火) 鎌倉ウォーキング

※12/7(日)～12/8 (月) 忘年山行 (鼻曲山・霧積温泉)

例会報告

9月例会出席者 9/14 40名 司会 吉留と

手塚、安彦、松本、鈴木、加藤、岡部、桐生、八巻、小林、伏見、前田延村田、五十嵐、江崎、石塚、嶋本、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、前田節赤塚、菅谷、山口、蓮見、清水、畑中眞、笹、野澤、富永、熊谷、富田、吉留政、吉留と、西堀、林、畑中桂、尾上、大草

新入会員紹介

大上 智史さん 住所 鎌ヶ谷市道野辺 65歳 2025年9月入会

8月山行報告

https://www.tokatsu.club/_files/ugd/ad8bf1_951ec562caac491cbe29b6b452a47

[96f.pdf](#)

山行案内

10月の山行予定

*鋸山 329m (ゆるい山) : (体☆☆)

日時: 10月 4日 (土曜日) 集合: 現地浜金谷駅 (9:10)

担当: (CL) 赤塚、(SL) 野澤・富田・西堀

*塔ノ岳 (とうのだけ) 1491m 縦走 きつい: (体★★★★+危技★) 場所: 秦野市

日時: 10月 19日 (日)

担当: 田中・柳・河野

11月の山行予定

*三浦アルプス (きつい〜ふつうの山) (体☆☆)

アップダウンする道を歩いて、相模湾を眺望できる。

標高の割に登り下りが多いのでトレーニングになる。

日時 11月 3日 (月・祝日) 集合: JR 逗子駅 8:15 (雨天中止)

交通

往路 ① 鎌ヶ谷(6:25)→(6:35)船橋(6:47)→JR 逗子(8:12)

② 新鎌ヶ谷(6:06)→(6:25)松戸(6:34)→(6:54)上野(7:02)→(7:47)戸塚(7:55)→(8:12)逗子

バス 長井行き(8:23)京急バス→風早橋下車(8:30)

復路 ① 東逗子駅(15:20)→JR(15:24)逗子(15:31)→(17:01)船橋(17:15)→鎌ヶ谷(17:25)

② 逗子駅(15:20)→JR(15:24)逗子(15:31)→(15:49)戸塚(15:50)→(16:34)上野(16:42)→(17:01)松戸(17:10)→(17:29)新鎌ヶ谷

【コース】 風早橋(登山口) 8:40…仙元山 9:00…観音塚 10:15…上山口分岐(昼食) 12:20…乳頭山 13:20…馬頭観音 14:00…(二子山自然遊歩道)…東逗子駅(下山口) 15:00

【歩程】 歩行時間: 約6時間(昼食、休憩を含む) 累計標高差 482m

登山概要: 相模湾の眺望。アップダウンする道を歩いて体力増強。

※ 9、10月に下見予定。下見によって時間等を変える。下見後に地図等を配る。

費用 概算: JR 船橋〜逗子、東逗子〜船橋、+バス 約3000円

担当 (CL) 菅谷、(SL) 羽鳥・富永

*松の木尾根・鳩ノ巣溪谷 (大多摩ウォーキングトレイル)

ゆるい山 (全会員対象) (体☆☆)

紅葉と奇岩、巨岩の溪谷美、多摩川沿いの8.2キロのウォーキングコースと展望の尾根歩き。

日時： 11月22日(土) 雨天中止

集合 JR青梅線、古里駅 9:10 解散、奥多摩駅

往路：新鎌ヶ谷5:41→5:53 船橋6:06→6:39 お茶の水6:44→7:20 武蔵小金井7:24
→8:17 青梅8:24→8:52 古里駅

復路：奥多摩駅14:19、14:48、15:14

コース：古里駅・・・30 寸庭橋(トイレ有り)・・・30 展望台(380)・・・15 雲仙橋・・・30
急な階段有り、白丸ダム・・・30 数馬狭橋・・・80 奥多摩駅

歩行時間：5.0時間(休憩、昼食含む)

※奥多摩駅手前で「もえぎの湯」への近道があるので寄る人はここで解散とする。

【歩程】：累計標高差又は標高差 ・登り(266)、下り(314)

エスケープルート：途中：鳩ノ巣駅、白丸駅

アドバイス(装備等)：トレッキングシューズ

交通費概算：約3500円 JRホリデーパス2720 購入自由

交通費詳細：電車3500円位

昼食：1回 下見は10月頃を予定

入浴：希望者：もえぎの湯(1050円)

担当：(CL)五十嵐・(SL)村上・吉留政・吉留とも子

*要害山(ようがいさん)536m(ゆるい山)(体力☆☆)

気持ちの良い雑木林の道、美しい富士山を道志や丹沢の峰と一緒に眺められる

※低山であるが、アップダウンや急登とロープの箇所もある

日時：11月28日(金) 予備日なし 催行決定11月26日(水)

集合・解散 上野原駅

交通

(往路)新鎌ヶ谷5:50→6:02 船橋6:12→6:49 御茶ノ水6:51→7:59 高尾8:01→8:25 上野原
(バス)8:50→尾続9:15

(復路)新井バス停13:44 14:11 14:41

上野原発 14:07 14:34 15:07 15:44

コース

尾続バス停・・・尾続山(538m)・・・実成山(609m) コヤシロ山(592m)・・・風の神(504m)・・・

要害山(536m)・・・鏡渡橋バス停・・・新井バス停

歩行時間：約3時間30分

累積標高：登り450m 下り470m

交通費概算 (電車)約3500円 (バス)往路400円 復路300円

担当：(CL)四元・(SL)江崎・桐生・畑中ますみ

12月の山行予定

*鎌倉ウォーキング 全会員対象：(体☆)

初冬のひだまりウォーキング 葛原岡・大仏ハイキングコースを歩き、長谷寺の紅葉ライトアップを楽しむ。

日時 12月2日(火)・雨天中止 集合 11:00 北鎌倉駅

交通：往路：集合北鎌倉駅 11:00 (新鎌ヶ谷 9:13—船橋 9:36—10:57 北鎌倉)

復路：江ノ電長谷駅 (17:05・17:19・17:33) —JR 鎌倉駅より各自発着地へ

コース：北鎌倉駅 11:10…浄智寺(拝観)…11:40 登山口…葛原岡神社(拝観・休憩・富士山展望)…
13:00 源氏山公園(昼食)…14:00 長谷大谷戸口分岐…大仏切通…14:30 火の見下バス停
(下山口)…(バス利用も可) 15:00 高德院(鎌倉大仏拝観)…16:00 長谷寺(拝観) 解散

【歩程】 歩行時間・・・約2.5時間 (食事・休憩・拝観など含まず)

歩行距離・・・約5.5km 標高差・・・100m ぐらい

概算費用

交通費概算：約3500円

拝観料(浄智寺300円・高德院300円・長谷寺400)

その他：持ち物 昼食・行動食

*鎌倉にはハイキングコースがいくつもあり、鎌倉アルプス(天園コース)や衣張山コースは以前会で計画したこともあり、このコースにした。長谷寺の紅葉ライトアップは素晴らしいとのことで夜の鎌倉を楽しめる内容となっている。

*集合時刻前に、北鎌倉駅周辺のお寺巡りなども可能。

*日没が早い時期だが、15時ごろまでに下山するので、山道の危険はないと考える。

*解散は日没後となるが、街中でもあり交通の便も良いので、心配はない。

*下見は10月か11月頃行う予定。変更があれば、11月例会で説明する。

担当 (CL) 猪狩 (SL) 前田せ・池谷・畑中け



<2025 年忘年山行>

霧積温泉「金湯館」と鼻曲山 ☆★

忘年山行の原点に戻り、『秘湯に泊り雪上ハイクを楽しむ』山行を企画しました。

この1年を振り返るとともに、新たな年の山歩きに思いを馳せましょう！

日程：2025年12月7日(日)～8日(月) <1泊2日>

宿泊：『霧積温泉：金湯館』

群馬県安中市松井田町坂本 1928 ☎ 027-395-3851

宿泊料金：16,650円 (1泊2食付、消費税・入湯税含む)

集合：12月7日(日)午後2時10分 JR信越線「横川駅」改札口前

解散：12月8日(月)午後3時ころ JR北陸新幹線「軽井沢駅」前

交通：公共交通機関(電車、バス)を利用します。お薦めの時刻表は、次の通りです。

① 往路：12月7日(日)

新鎌ヶ谷 10:21⇒11:33 大宮 11:51⇒12:42 高崎 13:23⇒13:57 横川
宿の送迎バスで金湯館へ(積雪量が多い場合は、2回に分けて移動)

② 復路：12月8日(月)

長日向 14:51→<バス>→15:11 軽井沢 15:35→<バス>→16:09 横川 16:30⇒
17:02 高崎 17:13⇒18:32 大宮 18:50⇒19:57 柏 20:05⇒20:24 新鎌ヶ谷

(注) バス(長日向→軽井沢)は、11月にダイヤ改正予定です。

(注) 軽井沢駅から新幹線を利用する人は、各自で調べてください。

ハイク：(12/7) なし

(12/8) 金湯館 8:00…十六曲峠分岐…霧積のぞき…鼻曲峠…鼻曲山…長日向

歩行時間：約6時間30分(休憩含む)、約8km

会費：18,000円 (宿泊費、夕食時飲み物) (往復の電車・バス料金は各自負担)

装備：防寒具、雨具、帽子、手袋、スパッツ、登山靴、軽アイゼン、ストック、ザック、
ザックカバー、テルモス、タオル、着替え、行動食など
(飲み物とお肴は適度に持参をお願いします)

幹事：CL 安彦秀夫 TEL：090-5827-0571 SL 嶋本道子、蓮見久美子

メモ：

- ① 雪上ハイクですが、装備(特に防寒対策)をしっかりと行えば、どなたでも参加できるコースを企画しました。但し、宿のバスで横川駅までの送りはしてもらえないので、軽井沢側に下山することにしました。従って、途中で引き返すことはできません。
- ② 持ち物・装備については、例会などで更に説明します。
- ③ 宿泊は、20名で予約済みで、横川駅から迎えのバスで宿まで移動します。
- ④ お好みの『飲み物(アルコールなど)』や『つまみ』などをご持参ください。
- ⑤ 会費は、2日目の朝食前に集金します。

森村誠一氏の「人間の証明」誕生のきっかけになった秘境の一軒宿に泊まり、
「会員相互の懇親」と「簡単な雪上ハイクを多くの会員と共に楽しむ」ことを
目的に企画しています。参加をお待ちしています。

クライミング講習（入門編）6回シリーズ（4回までは実施済）

- ・第5回：9/28（日） 予定 印西クラック於 リードクライミング
- ・第6回：10/18（土） 予定 印西クラック於 リードクライミング

オンライン講習会（2回までは実施済）

- ・第3回：9/25（木）19：00～20：30「登山計画届“コンパス”」の紹介
講師：インフカム株式会社
- ・第4回：11/27（木）19：00～20：30「クライミング安全対策」
講師：全国連副理事長・遭難対策部長 石川 昌氏

事故防止・経験交流集会（詳しくは「ちばニュース10月号」参照）

- ・日時：11月15日（土）13：00～17：30
- ・場所：船橋西部公民館（下総中山） 閉会后懇親会予定

海外登山：韓国（ソウル5大名山） 10/17～10/21

「韓国ル近ソウ郊3座に登る」 道峰山・水落山・仏岩山、13名参加予定

ふれあいハイキング（障害者支援ハイク）

- ・日時：10月26日（日） ・場所：君津市 「三舟山（138.7m）」
- ・登山口までの移動：（行き7：30/帰り16：30頃）鎌ヶ谷市役所前にて乗降
- ・東葛山の会から13名参加予定、市役所駐車場利用者は申し出ください

ウィークデーハイク 11月10日（月）「軍荼利山～一宮」

- ・申し込み締め切りは10月11日。詳しくは「ちばニュース8月号」ご覧ください

[2026 「労山カレンダー」の注文受付

- ・11月20日までに、富永までメール申し込み (aa0008276@gmail.com)
- ・金額：¥1,000-/部、締切日（11/20）以降の注文は、¥800-/運賃が必要

西穂高岳

日時：8/27（水）～7/28（木）

メンバー：蓮見、石塚（記）、他1名

<8/27>

あずさ特急で松本へ。松本バスターミナルからネット予約したバスで平湯温泉まで。そこで、ロープウェイまでのバスとロープウェイのセットの往復券を買って、西穂高口駅まで行きます。

ロープウェイから降りた展望台は、雨と霧で大きな笠ヶ岳がまったく見えません。赤いジャケットを着た係りの人が来て、雷が落ちているので、待った方がよいとのアドバイスで20分ほど待機していたら、雨は止み、雷の音も聞こえなくなりました。歩いて西穂山荘へ向かいます。濡れなくて良かったです。

声をかけてくれた叔父様、ありがとうございます。

生ビールで前夜祭をし、女性5人部屋になりました。

<8/28>

5時30分に朝食を食べ、いらない荷物は山荘前の外の棚に置くことができます。ヘルメットを着け、西穂高岳に向けて出発です。

私は、ガスガスなら独標でピストンするつもりでしたが、晴天の風無しです。まさに登山日和で、もう少し先まで行かれるかな？と思いました。

歩くのが早い2人に迷惑はかけられないので、いつ戻ろうかと考えながら歩いていました。2人に聞くと、「順調に歩いているので3人で登頂しよう～」と言われ、気力の立て直しをします。

歩く順番は、私、蓮見さん、Kさんの順。ですから、私のペースで歩いて気が楽でした。独標の手前から岩ばかりになります。

ストックはしまい、はい上がるように、いくつもの峰を越え、登頂できました。



素晴らしい展望で、来られて本当に良かったと思いました。

焼岳、笠ヶ岳、槍ヶ岳、ジャンダルムには人がいるのもはっきり見えました。

その先に奥穂高岳です。

東葛に入った頃、東葛女子で西穂高岳、焼岳に行ったのを思い出します。その時も晴れて景色が良かったです。

山頂からの下りは、すごく急な道を下り、時にはお尻をついてズルズル降り、鎖も何箇所かあります。前向きで降りたり、後ろ向きで降りたり、その場その場で判断し、全神経を集中し無事に降りました。

帰りの平湯温泉から松本バスセンターまで予約してあったので、西穂山荘からロープウェイ乗り場まで、少し急いで歩きました。

もう、足首骨折をしてからのステップアップの山はおしまいになります。怪我無く下山できて、ホッとしています。

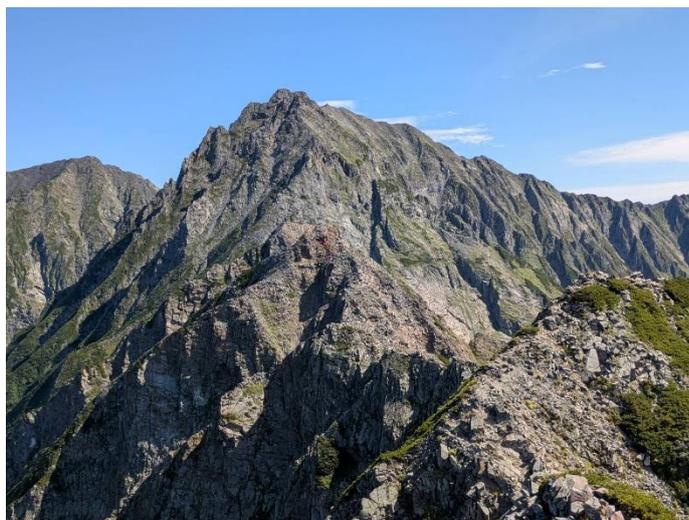
蓮見さん、お誘いをありがとうございました。

登頂できて、とても嬉しかったです。

全身が疲れたので、翌日は自分へのご褒美に、ほぐし屋に行きマッサージをしてもらいました。



焼岳



ジャンダルム

劔岳北方稜線

2025年09月18日

富永 好郎

新田次郎の「劔岳 点の記」は、明治時代末期、未踏の劔岳へ日本地図を完成させるために困難な山岳測量に取り組んだ、陸軍本部陸地測量部（現 国土地理院）の挑戦の物語で、読まれた方も多いと思います。

“雪と岩の殿堂”劔岳は、槍岳と並んでアルピニスト憧れの山です。小生は二回目、今回は更に、劔岳本峰を越えて、北方稜線から裏劔に至るバリエーションルートへ挑戦しました。

【9月7日 距離3km ≒3時間 室堂～劔山荘】

室堂を12時に出発、5人パーティー（ガイド1名）、小生以外は全員女性（顔見知り）ながら、歴戦の“やまんば”揃い。

【9月8日 距離6km ≒11時間 劔山荘～劔岳本峰～北方稜線～池の平】

夜に降っていた雨は止んだが、霧が立ち込めて視界ゼロ、午後からは晴れる予報を期待して、4時にヘッドランプを着けて登山開始する。本峰岩稜帯である、前劔の門～平蔵の頭～カニの縦バイと進むと、7時半に劔岳山頂着くが、この頃から雨が激しくなってくる。

まだ行程の1/3、山頂もそこそこに、北方稜線へ入り、長次郎のコルから、核心部である、長次郎の頭～池ノ谷乗越～チンネまで、足元の岩が濡れて滑るので、慎重に、念入りに、確かめながら進む。八峰へ向かう合流地点（ここで北方稜線は終わり）、長いガレ場、“池ノ谷ガリー”を滑る？ように降りる。

三の窓まで登り返して、ここからが池の平までの降りになるが、濡れた石・土・木・竹・草 全てが滑り易く、登りより厄介だ。

三の窓雪渓（氷河）をトラバースして、小窓雪渓（氷河）への途中に足をひっかけて転倒、絆創膏を貼る。（ヘルメットを被っていなかったら大怪我していた）小窓雪渓は、アイゼンを装着してピッケルを持って≒2km、旧鉾山道取付きまで降り、15時には池之平小屋へ着く。

昔ながらの山小屋、スタッフ全員で「お疲れ様・・・」と出迎えてくれる。

宿泊は我々以外に1人、「こんな雨の日に、こんな奥まで来る人いない！」

夕方から、天気が回復して、日が射し、“裏劔”の山々を見ながら乾杯する。

小屋のスタッフが採った、天然なめこの味噌汁が美味しく、3杯お代わりする。

【9月9日 距離11km ≒11時間 池の平～真砂沢～劔沢～雷鳥荘】

4時半小屋発、小屋のスタッフがヘッドライトを振りながら見えなくなるまで見送ってくれた。

夜明け前、裏劔の山々に、大きな月とたくさんの星がかかっている。

今まで見たこともないような景色に感動する。

仙人峠で日の出を迎えて、東方に鹿島槍ヶ岳と五竜岳が朝日と雲の間から浮かび上がってくる。裏劔も朝日を受けて赤く（モルゲンロート）染まっていた。

二股まで降り、ここから劔御前小屋の尾根まで6時間ひたすら登り詰める、今回一番の長く、辛い行程になる。三ノ沢の崖にかかった鎖をたよりに真砂沢ロッシまで、¥500-のコーラで元気を取り戻す。

劔沢雪渓を対岸へ渡ると、雪が溶けて陥没が始まり、雪渓歩行が危険なため、夏道（谷側斜面）を選ぶ。夏道は道が不明瞭で荒れている。

息を切らせながら、右手に源次郎尾根、長次郎谷出合、平蔵谷出合、を見ながら進むと、いきなり劔澤小屋が現れる。ここまで来ればもう一息、一気に劔御前小屋まで登ると、眼下に今日の宿泊先“雷鳥荘”が見える。

最後の降りは、より慎重に、浄土橋を過ぎると、キャンプ場から雷鳥荘までの階段が本当に長く感じられた。

翌日の、奥大日岳は天気も思わしくなく、裏劔の疲れもあり断念した。

今回は、自分の登山歴の中でも、岩稜帯歩行・行程の長さ・最も厳しい山行でしたが、大好きな“劔岳”の奥深さを体験でき、裏劔の景色も忘れることのできない素晴らしい山行でした。 来年は“下ノ廊下”に挑戦したいと思います。



北方稜線の岩稜帯トラバース



小窓雪渓（氷河）を下降



明け方の裏劔の山々



日の出、鹿島槍ヶ岳・五竜岳



劔沢の夏道（後ろは源次郎尾根）



劔沢小屋の前で記念撮影

猛暑の夏を振り返る

羽鳥健一郎

ストックを使い夜中に^{はばか}憚りへ一歩一歩の痛み引きずり
二十年振りの^{のりくら}乗鞍岳諦めてバスや列車の予約取り消す
図らずも「北の国から」全編を再放送で懐かしく観る
演舞場^{やそじ}八十路の歌手のコンサート隣家の人と連れ立ち妻は
もやもやと^{みそか}過ごせし夏も^{ようや}晦日なり足の痛みは漸く点に
ふる里の施設の^{はは}義母は白寿超え小さくなりてベッドに眠る
二日後に義母の訃報の知らせ受く 最後の親が身まかりし夏
夏野菜涼しきうちに採り終えて畑でゆっくりラジオ体操
雑草は猛暑に^{したた}めげず強かにいつの間にやら畑を囲む
台風が日照り続きの菜園にやっと恵みの雨をもたらす
習いたての詩吟を唸りペダルこぎ公民館へと向かう暑き日
今週も山の代りと切り替えて詩吟の会へ自転車^{しら}をこぐ
検診で都心へ向かう車窓には暑さに白むスカイツリーが
穂を垂れて黄金に光る田の先の宝篋山に雨の近づく
ヤブランの紫の花ここ其処に宝篋山の山道飾る



思い出の山 「初めての富士登山」

井上順之

2019年9月初め、あと数日で閉山になる富士山にふいに行きたくなって、一泊二日で単独登頂して来ました。

往きは富士急を利用、スバルライン五合目から登り八合目で一泊。翌日登頂し、銀名水から御殿場口新五合目へ下山。御殿場から高速バスを利用し、新宿経由で帰宅しました。

登りは一番ポピュラーな登山道でしたが、途中体調不良でうずくまる人が居り、私自身も苦しくてスローペースで登らざるを得ませんでした。宿に着いてからは、心拍数が落ち着くまで、時間を掛け必死に深呼吸を繰り返しました。宿泊した山小屋はガラガラ。御代わりしたカレーライスで満腹、ゆったりと一夜を過ごすことが出来ました。

山頂は人気もまばら。浅間神社奥の院で記念にお札を購入、足早に下山口へ急ぎました。

富士登山ルートで距離が一番長く、利用者も少ないと言われているマニアックな「御殿場ルート」を選んだのには訳が有りましたが、登山道全体の2/3が砂漠の道。砂の中にめり込む足への負担は想定外。途中何度もシートを敷き座り込んで足をマッサージ。少ないバス便に乗り遅れまいと、精神的にも想像以上に長い苦難の道でした。

半面、バス停に辿り着いた時の喜びはひとしお。半ば動かなくなった足を引きずりながらも気分は最高。東葛に入って3本の指に入る達成感抜群の思い出の山になりました。



シーズン中、登山者でごったがえす山頂のこの広場も当日はガラガラ。道中、既に閉じている店、ブルドーザーに荷物を積み込み撤退作業中の店…等の光景に出会いました。



快晴に恵まれた剣が峰と噴火口。遠方から眺める容姿からは想像できない荒々しい山頂でした。



「大砂走り」は、傾斜の急な所は快適に滑りながら高度を下げられましたが、傾斜が緩くなると歩くしかなく、砂に埋まる足への負担は、疲れ切った体には想像以上の試練の場でした。砂漠には道標代わりにロープが張ってあり、視界不良時のみならずこの時も大いに助かりました。

11月には前田悟さん、12月には清水さんです。前月の20日を目安に加藤までお願いします。

私とエレキギター

西堀正弘

昭和30年後半から40年前半にグループサウンドが流行し、エレキギターがブームになった。四国（香川県）の片田舎で育った西堀少年（笑）も大いに影響を受けた。特に来日演奏していた「ベンチャーズ」のパワフルな演奏は衝撃だった。「なに！あのテケテケ・・・という奏法は??」

時は変わり、高校生になった娘が幼い頃から練習していたピアノを「ヤマハ楽器音楽教室松戸校」で習うこととなった。本人の家族が入会するときには入会金無料とのことで、私もエレキギターを習いに行った。それから13年間通った。知り合いも何人かでき、バンドを組んでライブハウスで演奏をした。銀座の「TACT」が中心で、千葉では柏の「スタジオU」でも演奏した。

教室に通っていたころ、「ベンチャーズ」初代からメンバーのドンウィルソンが使用していたモズライト製のギターが欲しく、楽器店にお願いし、取り寄せてもらった。今はもう製造していない。

かなり高額で、家内にお願いし、小遣いを何か月分も前借りして購入した。今も私の部屋にアンプやチューナーと一緒に鎮座している。

「ベンチャーズ」も世代交代し、コロナが流行以後、来日しなくなった。寂しい限りだ。



銀座「TACT」でライブ中

「ベンチャーズ」ツアーのパンフ

11月号の担当は河野さんと畑中桂子さんです。

10月20日までに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。

(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

ちょっと一言 林 孝和

私が山を始めたのは大学の教養部時代です。趣味の鉱物採集で山に行く機会が多かったので、山の技術や知識を学びたくて地元福岡の労山系山岳会に入りました。会では奥穂-槍縦走や厳冬期の伯耆大山の剣ヶ峰-弥山縦走、奥穂登山などに参加しました。右の写真は1978年の正月に奥穂に登頂した際の写真です。この年は異常気象で前日雨が降り、ブルーアイスとなって滑落者が続出。帰りは遭難者をボートに載せて新穂高まで下りました。

福岡には花崗岩で人口登攀の練習をする宝満山と三郡変成岩の緑色片岩をフリーで登る野北海岸という主に2か所の岩場がありました。毎週それらのゲレンデに通ってロッククライミング技術を習得してから、九州では有名な日向神岩壁のハート岩を登ることができました。ここはオーバーハング

もある本格的な岩壁で主に人口登攀となります。このほかにも阿蘇根子岳や阿蘇高岳北壁 松ガ尾谷の冬期遡行氷瀑登攀などいろいろと楽しむことができました。



とつかつ

会員募集中

東葛山の会

貴方も一緒に山を歩きませんか？

月3回、登山やウォーキングの計画があります
新しい仲間の入会をお待ちしております

例会：毎月、第2日曜日 14:00～16:00
鎌ヶ谷市中央公民館「学習室1」

*お問い合わせは電話か「東葛山の会のホームページ」よりお願いします

URL: <https://www.tokatsu.club>

電話: 090-3104-2056 事務局 羽鳥(はとり)

見学歓迎!



編集後記

写真の中程に自然保護監視員が登山道を整えている姿があります。標高 1600m の活動地で貴重な動植物が見られる大自然を保護し、「神々が遊ぶ庭の大自然を後世に残す！」活動をしているそうです。整備された足元に見とれて立ち止まった時の一枚です。大勢の人の汗の結晶が身に沁みました。ロープウェー山頂駅でマナーの普及 3 分間レクチャーを受けて 1000 円協力させてもらったらピンバッジがもらえました。

ここは北海道上川郡東川町旭岳ロープウェー姿見駅からの散策コースです。

~keichann~



原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月 20 日までをお願いします。

<担当>山岡、桐生、菅原

連名でお願いします

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和 7 年 10 月 1 日

発行者 東葛山の会

会 長 安彦 秀夫

編 集 会報部